

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	中国語第二		
英文授業科目名	Elementary Chinese II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鷲巣 益美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
ピンインを正確に読めるようになること、話し相手に自分の意思を正確に伝えるための最低限の文法事項を理解することが大きな目標です。一年間中国語を勉強して手ごたえを感じたら、中国語検定4級に挑戦してください。

【前もって履修しておくべき科目】
「中国語第一」をしっかり勉強し、夏休みの間に忘れてしまわないように。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
教科書：「中国語第一」に同じ。 月曜2限：『初級漢語教本』同学社 月曜3限：『[三訂版] Q&A付 なるほど・わかる中国語』同学社

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

「中国語第一」とほぼ同じですが、文法説明に費やす時間が増えると思います。受講者諸君の授業態度が良好ならば映像資料もたくさん使用します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

「中国語第一」にほぼ同じ。出席状況・授業中の態度・試験の成績によって総合的に評価しますが、「中国語第二」のほうにやや重点が置かれます。たとえば第一が90点であっても第二が30点ならば合格する可能性はゼロですが、第一が30点で第二が90点だった場合、出席状況が良好ならば最低限「可」がつく可能性はあります。

一年間無欠席であっても試験の成績が悪ければ、合格点を出すことはできません。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日の昼休みに、非常勤講師室へ来てください。

【学生へのメッセージ】

勉強の仕方がわからないとか、授業中に理解できないことがあった、という心配事があったら早めに相談してください。どんなに些細なことでもかまいません。中国への旅行相談にも応じます。

【その他】

中国のことをきちんと理解して、中国の人と中国語で積極的にコミュニケーションをとる努力をするならば、中国という国はけっして怖いところではありません。中国人はちゃんとあなたのことを見えています。